

健康・地域活力

未定稿

誇り・  
魅力



# 2026アジア大会

## NAGOYAビジョン（仮称）

～夢の舞台へ、そしてアジアとともに輝く未来へ～



国際交流・  
多様性



中間案（素案）



年 月

名古屋市



イノベーション  
・持続可能性

はじめに

検 討 中

# 目次

1	2026アジア大会NAGAYAビジョン（仮称）	1
	（1）ビジョンの意義	1
	（2）ビジョンの位置づけ	1
	（3）持続可能な開発目標（SDGs）との関係	2
2	第20回アジア競技大会	3
	（1）アジア競技大会とは	3
	（2）第20回アジア競技大会	3
3	本市の現状	5
4	コンセプト	12
5	めざすまちの姿	13
6	まちの姿の実現に向けた取り組み	15

# 1 2026アジア大会NAGOYAビジョン（仮称）

## （1）ビジョンの意義

第20回アジア競技大会は、本市が今まで経験したことのない規模の国際総合スポーツ大会です。

期間中には、過去大会の実績から、選手、監督、コーチなどといった大会関係者約1.5万人、観客約150万人がこの地域を来訪すると見込まれており、本市では、アジア競技大会を一過性のスポーツのイベントで終わらせるのではなく、大会の開催効果をスポーツの振興をはじめ、交流人口の拡大、国際交流の促進、国際競争力の強化など、様々な分野につなげていくことが必要と考えています。

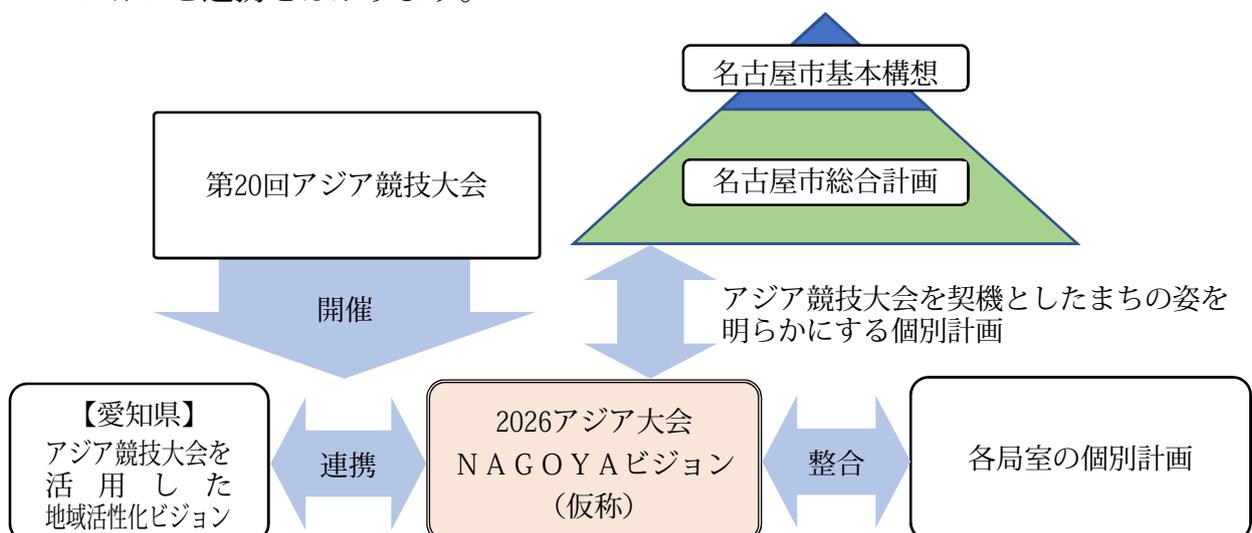
本ビジョンは、大会終了後の2030年頃を見据え、大会を契機として本市がめざす姿とその実現に向けた取り組みを明らかにするために策定するものです。

## （2）ビジョンの位置づけ

本市のまちづくりの大きな方向性を示す「名古屋市総合計画（※）」においては、2026年の第20回アジア競技大会の開催と2027年のリニア中央新幹線の開業を重要な柱と位置づけ、長期的展望に立った上で、本市のめざす都市像を描くとともに、その都市像の実現に向けて取り組む施策を明示し、市政を総合的かつ計画的に運営していくこととしています。

本ビジョンは、名古屋市総合計画のもと、第20回アジア競技大会の成功とその先をしっかりと見据え、大会を契機として本市がめざす姿を明らかにする個別計画として、名古屋市総合計画と整合をはかりながら一体的に検討し策定したものです。

また、本ビジョンにおいては、本市の各局室の関係分野にかかる個別計画と整合をはかるとともに、愛知県で策定するアジア競技大会を活用した地域活性化ビジョンと連携をはかります。



（※）名古屋市総合計画：現在策定中の次期総合計画を指す。以下文中同じ。

### (3) 持続可能な開発目標（SDGs）との関係

国際連合では、SDGsの17の目標それぞれの達成に向けた課題に取り組む潜在的能力を備えた重要かつ強力なツールとして、スポーツがその役割を果たすことを期待しています。

第20回アジア競技大会を契機として、めざすまちの姿を明らかにする本ビジョンにおいても、SDGsの理念を踏まえて策定しました。

SDGsとは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17の目標・169の達成基準から構成されています。



## 2 第20回アジア競技大会

### (1) アジア競技大会

アジア競技大会は、第2次世界大戦後まだ間もない1951年、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込めて、インドのネルー初代首相の提唱により、日本を含む11か国の参加のもと、第1回大会がニューデリーで開催されました。

現在は、オリンピック・ムーブメントを推進するアジア・オリンピック評議会が、原則4年に1回開催しており、スポーツの公平な競争を通じて、スポーツ、文化、教育、国際的な尊敬、友情や平和など、様々な分野の振興・促進に寄与する一大イベントとなっています。

#### ■過去大会実績及び今後の大会開催予定

回	開催年	開催都市	開催国	参加国及び地域	参加選手数
1	1951年	ニューデリー	インド	11	489人
2	1954年	マニラ	フィリピン	19	970人
3	1958年	東京	日本	16	1,820人
⋮					
12	1994年	広島	日本	42	6,828人
⋮					
17	2014年	仁川	韓国	45	9,501人
18	2018年	ジャカルタ・パレンバン	インドネシア	45	11,300人
19	2022年	杭州	中国	—	—
20	2026年	愛知・名古屋	日本	—	—

### (2) 第20回アジア競技大会

#### ア 概要

第20回アジア競技大会は、スポーツ界にとって2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の次なる大きな目標となり、拡大するアジアとの交流を一層深める機会となるなど、日本全体にとっても大変意義のある大会です。

日本では、1958年に第3回大会が東京で、1994年に第12回大会が広島で開催され、第20回大会は日本で開催される3回目の夏季アジア競技大会となります。

会 期	2026年9月19日～10月4日
開 催 都 市	愛知県・名古屋市
実 施 競 技	36競技を想定
競 技 会 場	名古屋市瑞穂公園陸上競技場（メイン会場）はじめ51会場を想定 ※
選 手 村	名古屋競馬場移転跡地のほか、県内で分散
参 加 者 数	選手、大会関係者約1.5万人を想定
大会コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆アスリートファーストの視点</li> <li>◆既存施設の活用</li> <li>◆先端技術の駆使</li> <li>◆伝統と県民・市民性に触れるおもてなし</li> <li>◆アジア競技大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献</li> </ul>

※ 調整中のトライアスロンを除く。

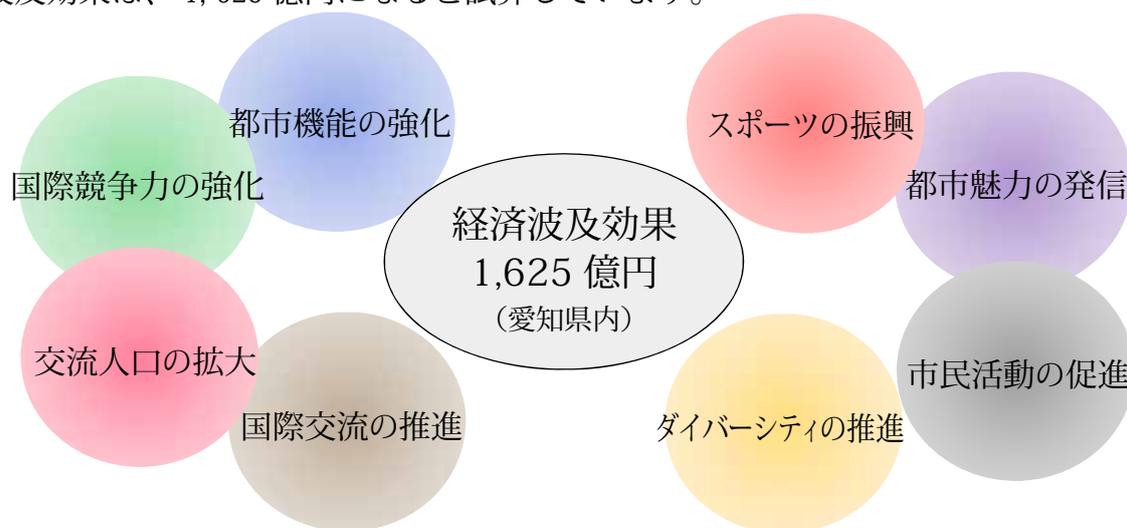
## イ 競技会場

競技会場は調整中のトライアスロンを除き、51会場を想定していますが、うち市内では18会場を予定しています（今後、実施競技の変更や各競技における競技団体との調整などにより、競技会場が変更になる場合があります。）。



## ウ 主な開催効果

大会の開催により、様々な効果が本市にもたらされると考えられており、経済波及効果は、1,625億円になると試算しています。



### ◆経済波及効果試算の前提条件

- ・投資支出 850億円（大会主催者負担経費の額）  
※施設整備費（仮設を除く）や関連インフラ整備にかかる支出は含まず。
- ・消費支出 大会観戦客の宿泊・飲食代など  
※大会観戦客約150万人と仮定（第17回アジア競技大会（韓国・仁川）と同じ）

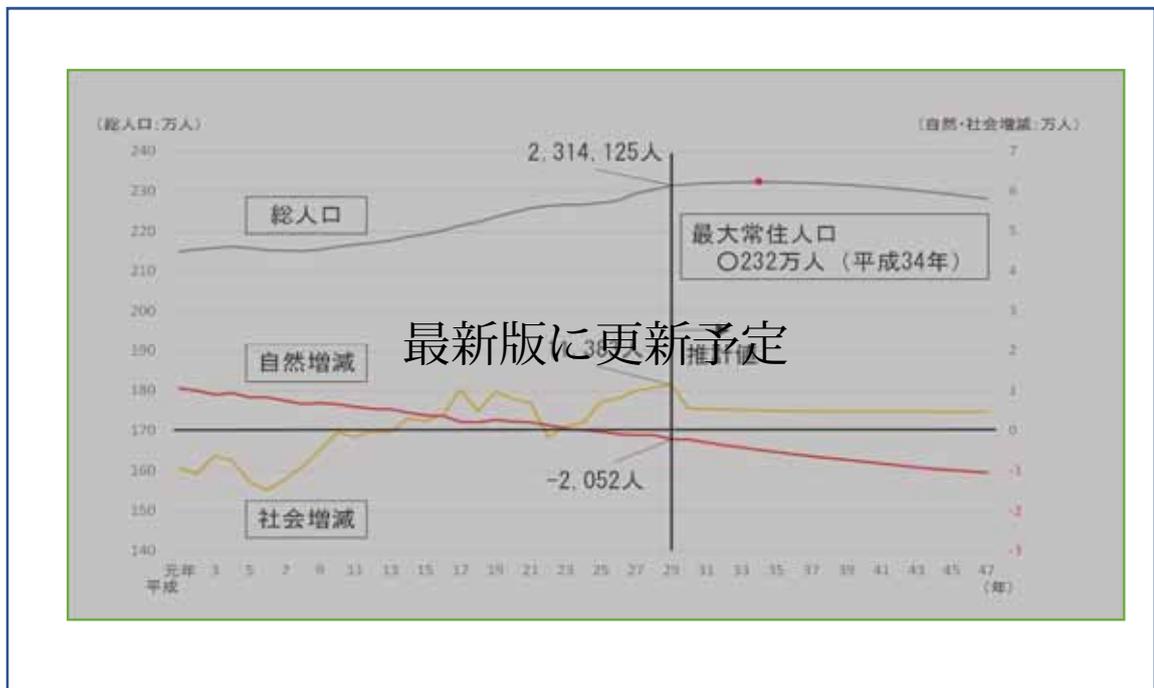
### 3 本市の現状

#### (1) 常住人口

本市の常住人口は、自然減を上回る社会増により、増加傾向にあります。しかし、長期的には少子化・高齢化に伴う常住人口の減少が予想されます。

人口減少に伴う経済活力の低下が懸念される中、都市の活力を維持・向上していくためには、交流人口の増加をはかるとともに、年齢や性別、障害の有無や国籍などに関係なく、活躍できる環境の整備が必要です。

#### ■本市における常住人口の推移と推計



## (2) 価値観・ライフスタイルの多様化

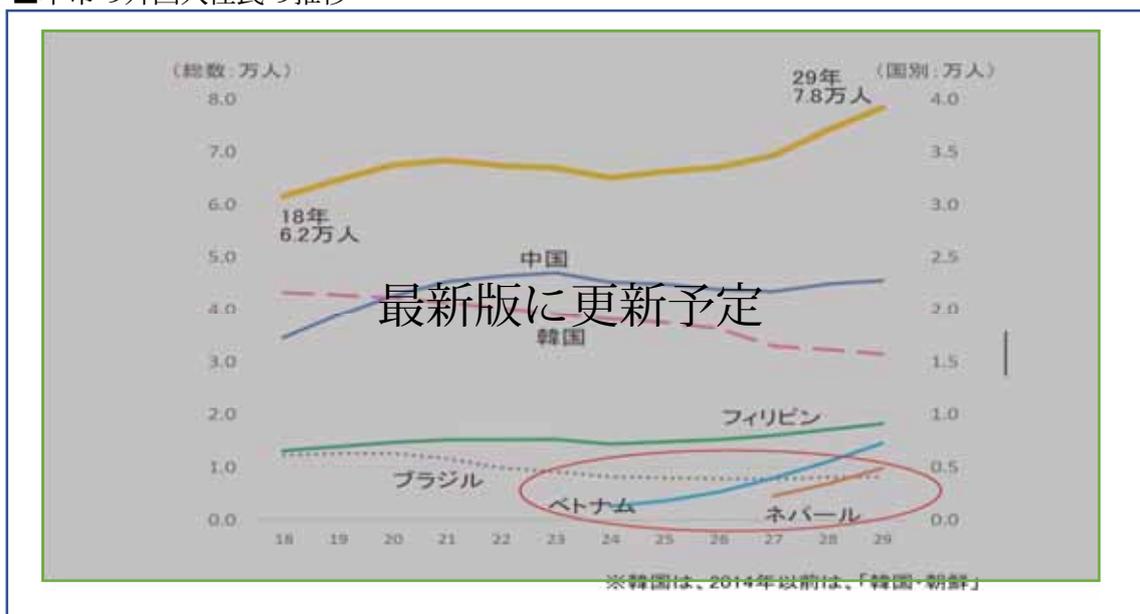
人と人とのつながりが希薄化しており、地域社会においてコミュニティの機能が低下しています。このような中、家族や世帯のあり方、人と人とのつながりが変化し、価値観やライフスタイルが多様化しています。

また、本市の外国人住民も近年大幅に増加しており、国籍や民族をはじめ多様なバックグラウンドを持つ市民が増加しています。

なお、本市の外国人住民の国籍割合は中国人・韓国・フィリピンの順ですが、近年、ベトナム・ネパールからの流入が増えています。

このような状況を踏まえ、ダイバーシティ（多様性）を重視し、住む人も訪れる人も、誰もが安心して過ごすことができる環境づくりが必要となります。

### ■本市の外国人住民の推移



### (3) スポーツ、運動、身体活動

市民全体の6割近くが週1回以上の頻度で運動・スポーツに取り組んでいる状況ですが、30代では実施率が低いなど、性別・年代別で差があります。

スポーツをしない理由として、「きっかけがない」、「仕事が忙しい」、「家事・育児が忙しい」などが挙げられており、ライフステージに応じた施策の展開が求められます。

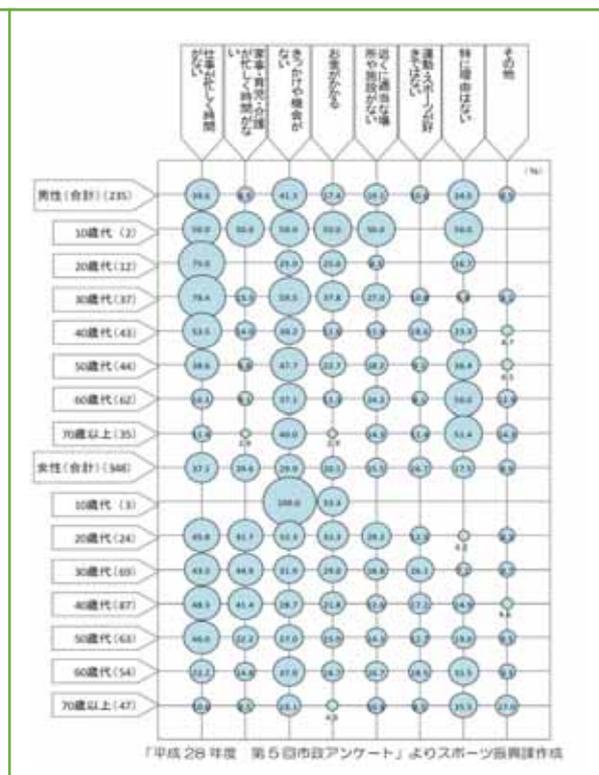
また、成人の1日の歩数は、各性別・年代において、健康なごやプラン21（第2次）で定める目標値を下回っています。

運動や身体活動の量が多い人は、少ない人に比べて生活習慣病にかかりにくいことがわかっており、市民の運動や身体活動への関心や意識を高め、身体活動量を増加させることが重要です。

■性別・年代別・スポーツ実施率



■性別・年代別スポーツをしない理由



■性別・年代別 1日の歩数

性別	年代	現状値 (2015年)	目標値 (2022年度)
男	20～64 歳	8,452 歩	8,500 歩
	65 歳以上	6,366 歩	7,000 歩
女	20～64 歳	7,299 歩	8,400 歩
	65 歳以上	4,049 歩	6,900 歩

「健康なごやプラン21（第2次）中間評価」より抜粋

#### (4) グローバル化・インバウンド

現在、国や地域の境界を越えて、地球規模で「ヒト・モノ・カネ・情報」の移動が拡大しています。特に、移動時間の短縮や経済のグローバル化により、ビジネス、観光などあらゆる分野において国際交流人口が増加しています。

中部国際空港の2017年における年間入国外国人数は約136万人で、緩やかな増加傾向にあります。成田国際空港や関西国際空港と比べると2017年の年間入国外国人数は5分の1以下となっています。

また、訪日外国人が訪れる都道府県として、東京都、大阪府、千葉県、京都府福岡県に次いで、愛知県は第6位となっており、多くの訪問先が、関東圏、関西圏に集中しています。

交流人口の拡大を図る本市としては、アジア競技大会を契機として名古屋大都市圏を訪れる外国人観光客やビジネス客を増やすため、インバウンドに関する取り組みを推進する必要があります。

##### ■全国の主要空港別年間入国外国人数の推移



(5) 公共施設

本市が保有する公共施設の多くが、戦後の急激な人口増加や高度経済成長に合わせ、昭和40年代から集中的に整備されており、経過年数の増加に伴う修繕や改修などが必要となります。

第20回アジア競技大会において、メイン会場となっている瑞穂公園陸上競技場のほか、テニス・ソフトテニスの競技会場として使用予定の東山公園テニスセンター、メディアセンターなどに使用予定の名古屋市国際展示場などでも、老朽化への対応やアジア競技大会の開催に向けた整備が必要となります。

大会で使用する施設については、大会時の使用だけを考えて修繕や改修などを行うのではなく、その後の活用を踏まえ、アジア競技大会後の大会運営に携わる各競技団体との協議を行うとともに、大会後の市民利用も視野に入れ、対応を検討することが求められます。

■第20回アジア競技大会で使用する主な本市所管施設の状況

区分	瑞穂公園陸上競技場	東山公園テニスセンター	名古屋市国際展示場
経緯	1941年2月：竣工 1982年3月：改築 1994年5月：改修	1993年7月：共用開始	1973年11月：第1展示館開館 1987年9月：第2展示館開館 イベント館開館 1993年10月：第3展示館開館 交流センター開館
利用状況など	●県内唯一の第1種公認陸上競技場として全国大会をはじめとする各種陸上競技大会を開催 ●Jリーグ名古屋グランパスのホームスタジアム	●1994年のわかしゃち国体をはじめ、多くの大会の会場として使用 ●緑も多く、テニスだけでなく公園内の散策が可能	●全国有数のコンベンション施設 ●展示、会議、レセプション、セミナー、商談、飲食など多様な用途、サービスが提供できる交流センターやイベント館を設置

## (6) 経済・産業

産業を取り巻く環境は、I o T、ビッグデータ、A Iなどの発展やロボット、自動運転、燃料電池・電気自動車などの技術革新の進展により急速に変化しており、新たな価値を創造する絶え間ないイノベーションの創出が必要となります。

そのような状況下で、本市の事業所数は東京都特別区部や大阪市に次ぐ規模となっていますが、I C T企業の集積が東京や大阪に比べて弱いのが現状です。

本市は、ものづくり産業を中核とする名古屋大都市圏の中核都市として、激化する都市間競争に打ち勝つために、アジア競技大会を契機として、今後の世界経済の大きなウェイトを占めると見込まれるアジア諸国と連携や産業交流を深めるとともに、先端技術を積極的に取り入れ、新たな価値を創出し続けることで、本市及び圏域の持続的な成長をはかることが必要です。

### ■ I C T企業の集積の比較

区 分	事業所数	構成比
	事業所	%
愛知県	1,422	6.4
東京都	6,725	30.4
大阪府	2,173	9.8
全 国	22,143	100.0

出典：名古屋市作成

(2016年経済センサスより加工 (ソフトウェア業及びインターネット附随サービス業))

## リニア中央新幹線の開業

2027年に開業予定のリニア中央新幹線により、東京・名古屋間は約40分で結ばれることとなります。

その後、早ければ2037年には東京から大阪までの全線開業の可能性があり、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が1時間で結ばれる、巨大な都市圏となるスーパー・メガリージョンが誕生し、7,000万人規模の世界最大の交流圏が誕生することとなります。

リニア中央新幹線の全線開業後、名古屋駅起点の120分交流圏人口は約6,000万人となり、品川駅起点の120分交流圏人口を上回る全国最大規模の交流圏域人口を擁することとなります。

この新しい大交流圏の形成は、「人・モノ・カネ・情報」の交流を世界規模で活発化させると考えられます。

アジア競技大会で拡大する交流人口を引き継ぎ、世界に冠たるNAGAYAをめざすにあたって、リニア中央新幹線の開業は、とても重要な要素となります。

### ■リニア中央新幹線開業による交流圏の変化



## 4 コンセプト



アジア最大のスポーツの祭典を通じて、かけがえのない記憶と感動が夢と希望をはぐくみ、新しい活力あるNAGOYAを未来へつなぎます。

住む人も、訪れる人も、だれもが自分らしく生きるまちをめざします。

# 夢や希望をはぐくみ、 誰もが自分らしく生きる

# コンセプト

## アジアとともに歩み、 さらなる飛躍を遂げる

SDGsの理念を踏まえるとともに、アジアをはじめとする世界の人々との相互理解を推進し、アジアとともに歩む姿を示します。

大会への取り組みを本市の飛躍へつなげ、持続的に発展する国際都市をめざします。



# 5 めざすまちの姿

**1**  
健康・地域活力

市民が健康に暮らし、  
活力ある都市になっている。

**2**  
誇り・魅力

スポーツで名古屋のブランドが確立し、  
市民が誇りをもてる都市になっている。



2026年秋 第20回アジア競技大会の開催期間  
多様性を認め合う国際平和イベントの実施

未来へ夢や希望をはぐくみ、だれもが自分らしく生きる  
アジアとともに歩み、さらなる飛躍を遂げる

リニアの開業効果



市民スポーツ



インバウンド動向



名古屋市が持つポテンシャル

# 3

## 国際交流・多様性

国際交流や多文化の理解が深まり、  
開かれた都市になっている。

### 1 健康・地域活力

スポーツにより、市民が健康に暮らし、地域の活動が盛んになることで、活力ある都市になっている

[ 取り組みの方向性 ]

- アクティブライフの推進、健康増進
- 子どものスポーツの充実
- 地域活性化、市民活動の促進

# 4

## イノベーション・ 持続可能性

競技施設、先端技術などが未来に引き継がれ、  
次世代産業が創出されている。

### 2 誇り・魅力

スポーツにより、都市のブランドが確立するとともに、名古屋の魅力が国内外に発信されることで、にぎわいあふれ市民が誇りをもてる都市になっている

[ 取り組みの方向性 ]

- スポーツを活かした魅力の創出・発信
- 大規模競技大会・イベントの誘致・開催
- アスリートへの支援
- 名古屋が有する魅力資源の発掘・向上・発信
- インバウンドの促進、受入環境の整備

### 3 国際交流・多様性

大会で、アジアをはじめとした諸外国や多様な人々との交流や理解が深まることで、豊かな国際感覚と多様性を備えるとともに、国際社会で活躍する人材が集う、開かれた都市になっている

[ 取り組みの方向性 ]

- 国際交流の推進
- 次世代を担うグローバル人材の育成・確保
- 共生社会の推進

### 4 イノベーション・持続可能性

大会で、活用した都市基盤、先端技術、危機管理体制などが、大会モデルとして未来に引き継がれることで、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能な都市になっている

[ 取り組みの方向性 ]

- 大会モデルの構築
- 新しいモデルとしての選手村の構築と大会後のまちづくり
- 大会後の活用を見据えた施設整備
- 防災性・利便性を備えた都市機能の強化
- イノベーションの創出、次世代産業の振興



産業基盤



まちづくり



多文化共生

## 6 まちの姿の実現に向けた取り組み

本市が大会を通じてめざすまちの姿と、その実現に向けた取り組みの方向性などを示します。

### まちの姿1 健康・地域活力

スポーツにより、市民が健康に暮らし、地域の活動が盛んになることで、活力ある都市になっている

アジア競技大会を契機に、スポーツへの関心がより高まり、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、誰もがスポーツをはじめとする身体活動に親しみ、子どもの体力が向上し、市民の健康が増進され、健康長寿が実現したまちとなります。

また、スポーツ大会、トップアスリートとの交流や各種イベントの実施、さらには、ボランティアをはじめとする市民活動への参加意欲の高まりによる地域住民の社会貢献が定着することで、地域が活性化され活力に満ちたまちを実現します。

#### ◇取り組みの方向性

##### (1) アクティブライフの推進、健康増進

誰もが生涯にわたって、気軽に楽しくスポーツをはじめとする身体活動に親しみ、活動的で充実した生活を送ることができる土壌を創出することで、より多くの市民の習慣的な身体活動を促進し、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じた健康寿命の延伸をはかります。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策1	生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
施策8	生涯にわたる学びやスポーツを通じた生きがいづくりを支援します

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	写真
--	----

(2) 子どものスポーツの充実

子どもが、スポーツや身体活動を楽しむことを通じて心身ともに健全に発達・成長し、生涯にわたって健康で充実した生活を送ることができるよう、運動習慣の確立をはかるとともに、学校での体育活動や地域における子どもの運動機会の充実に取り組みます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策14	子どもの個性を大切にし、確かな学力と豊かな心、健康な体を育みます
------	----------------------------------

主な取り組み

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">～取り組み名～</div> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>・・・・・・・・・・・・・・・・</p>	 <p>写真</p>
--	--

(3) 地域活性化、市民活動の促進

スポーツを通じた地域活性化をはかるため、東京2020オリンピック・パラリンピックなどの機会や、本市を拠点とするトップ・スポーツチームといった地域の財産を活かし、トップアスリートと市民の交流などを促進します。

また、大規模競技大会におけるスポーツ・ボランティアなど、スポーツを支える機会を通じて、地域に関わる多様な人々の市民活動への関心を高め、参加を促進します。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます
施策44	地域主体のまちづくりを進めます

主な取り組み

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">～取り組み名～</div> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>・・・・・・・・・・・・・・・・</p>	 <p>写真</p>
--	--

◆まちの姿の実現に向けた成果指標		
成果指標	現状値	目標値

## まちの姿2 誇り・魅力

スポーツにより、都市のブランドが確立するとともに、名古屋の魅力が国内外に発信されることで、にぎわいあふれ市民が誇りをもてる都市になっている

アジア競技大会を開催したことが市民の誇りとなっているとともに、継続的な大規模スポーツ大会の誘致やトップアスリートの輩出につながり、スポーツが新たな都市ブランドのひとつとして、国内外から認識されているまちとなります。

アジア競技大会の開催を契機に、スポーツにとどまらず、歴史・文化などの名古屋の魅力が国内外に発信されることにより、本市への来訪を目的とした旅行者が年々増加し、まちがにぎわいにあふれています。また、同大会を契機としてホスピタリティへの意識が向上し、来訪者へのおもてなしが充実したまちを実現します。

### ◇取り組みの方向性

#### (1) スポーツを活かした魅力の創出・発信

大会の開催が、市民にとっての誇りの一つとなるとともに、スポーツが本市のブランドとして確立されるよう、本市の有するスポーツコンテンツを活用したスポーツプロモーションの推進やスポーツツーリズムの促進に取り組み、本市の魅力の創出・発信につなげます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策37	歴史・文化芸術に根差した魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	写真
--	----

(2) 大規模競技大会・イベントの誘致・開催

大会の開催に向けて市民とともにまち全体を盛り上げ、大会の成功につなげます。

また、都市ブランドの向上や都市活力の活性化につなげるよう、アジア競技大会を開催する本市をスポーツコンベンションの場として国内外にプロモーションし、さらなる大規模競技大会・イベントの誘致・開催に取り組みます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策38	観光の振興・M I C Eの推進と情報発信により交流を促進します
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・	写真
--	----

(3) アスリートへの支援

大会コンセプトである「アスリートファーストの視点」をもち、アスリートを支える環境を整えるとともに、アジア競技大会をはじめとする国際大会で活躍する地元出身の選手の養成に向けてジュニア選手への支援を行います。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます
------	------------------------

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・	写真
--	----

(4) 名古屋が有する魅力資源の発掘・向上・発信

スポーツだけでなく、文化の祭典でもあるアジア競技大会において、名古屋を訪れる人が、スポーツにとどまらず、歴史・文化・芸術・エンターテインメントなど本市が国内外に誇る魅力を体感できるよう、本市が有する魅力資源を磨き上げ、さらなる掘り起こしを進めるとともに、本市の魅力発信を促進します。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策35	港・水辺の魅力向上をはかります
施策36	魅力的な都市景観の形成を進めます
施策37	歴史・文化に根差した魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
施策38	観光の振興・M I C Eの推進と情報発信により交流を促進します

主な取り組み

～取り組み名～	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

(5) インバウンドの促進、受入環境の整備

国内のみならず世界中の人から本市及び圏域を目的地（デスティネーション）として選んでもらえるよう、インバウンドの促進に取り組み、交流人口の増加をはかります。

また、国内外から訪れた全ての人々がストレスなく、快適に滞在し、観光を満喫できるよう、ハード・ソフト両面から受入環境の整備を進めます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策33	世界の主要都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
施策38	観光の振興・M I C Eの推進と情報発信により交流を促進します

主な取り組み

<p>～取り組み名～</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○○○○○○・・・・・・・・・・</p> <p>・・・・・・・・・・</p>	
---	--

◆まちの姿の実現に向けた成果指標

成果指標	現状値	目標値

### まちの姿3 国際交流・多様性

大会で、アジアをはじめとした諸外国や多様な人々との交流や理解が深まることで、豊かな国際感覚と多様性を備えるとともに、国際社会で活躍する人材が集う、開かれた都市になっている

アジア競技大会を契機に、スポーツや文化など幅広い分野で国際交流や国際貢献を推進することで、アジアをはじめとする諸外国とのネットワークを強化します。

将来を担う若者たちが、国際的な感覚と世界に挑戦する意欲を高め、国際社会に貢献できるグローバル人材を輩出するとともに、世界で活躍する人材が国内外から集うまちを実現します。

また、年齢、性別、障害の有無、文化的差異などを超えた多様な交流が活性化し市民の豊かな国際感覚が養われ、多様性への理解が深まり、支えあうなど、全ての市民が暮らしやすい共生社会を実現します。

#### ◇取り組みの方向性

##### (1) 国際交流の推進

大会を契機として、国際的に開かれたまちをめざし、産学官民で先催都市やアジア諸国をはじめとする諸外国と様々な分野での国際交流や国際貢献を推進し、特にアジア諸国とのネットワークを強化します。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策34 国際的に開かれたまちづくりを進めます

主な取り組み

～取り組み名～

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○

.....

(2) 次世代を担うグローバル人材の育成・確保

大会を契機として、本市がさらに世界に開かれた都市となるため、未来を担う子どもや若者への質の高い教育環境の整備に取り組み、情報技術の進化への対応など、グローバル社会で通用する知識やコミュニケーション能力を身につけた次世代を担う人材を育成するとともに、世界で活躍する人材が本市に集うよう取り組みます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策14	子どもの個性を大切にし、確かな学力と豊かな心、健康な体を育みます
------	----------------------------------

主な取り組み

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">～取り組み名～</div> ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ..... .....	 <p>写真</p>
---	--

(3) 共生社会の推進

大会を開催する都市として、全ての市民が年齢、性別、障害の有無、文化的差異といったお互いの違いを違いとしてありのまま認めあい、誰もが安心・安全・快適に暮らせるよう、多様性への理解の推進に取り組むとともに、バリアフリーのまちづくりを進めます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策9	人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくります
施策10	男女平等参画を総合的に進めます
施策28	バリアフリーのまちづくりを進めます
施策34	国際的に開かれたまちづくりを進めます

主な取り組み

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">～取り組み名～</div> ○○○○..... ..... .....	 <p>写真</p>
---	--

◆まちの姿の実現に向けた成果指標

成果指標	現状値	目標値

## まちの姿4 イノベーション・持続可能性

大会で、活用した都市基盤、先端技術、危機管理体制などが、大会モデルとして未来に引き継がれることで、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能な都市になっている

アジア競技大会で拡大する交流人口を引き継ぐため、選手村・競技施設や交通ネットワークをはじめとする都市基盤について、SDGsの理念を踏まえつつ、社会課題に対応した整備を進め、大会終了後もまちづくりやにぎわいの拠点になります。

また、安心・安全な大会運営を通じて、危機管理体制が充実するなど、ハード・ソフトの両面から都市機能が強化され、大会運営の基盤やノウハウが蓄積します。

大会で活用された先端技術が産業や社会生活に広く普及され、成長産業が振興するとともに、再生エネルギーの導入や省エネルギー化が推進されるなど、低炭素で循環型のまちづくりにつなげることで、強い産業力に加え、環境にも配慮されたまちを実現します。

こうした取り組みが、大会モデルとして未来へ引き継がれるとともに、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能なまちを実現します。

### ◇取り組みの方向性

#### (1) 大会モデルの構築

質素・簡素・機能的・合理的な大会運営を行い、国際総合スポーツ大会における名古屋モデルを構築し、大会運営の基盤やノウハウが本市に蓄積できるよう、先端技術を活用するとともに、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進など、低炭素で循環型のまちづくりに取り組みます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策31	低炭素都市づくりを進めます
施策32	3Rを通じた循環型都市づくりを進めます
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・	
・・・・・・・・・・・・・・・・	
・・・・・・・・・・・・・・・・	

(2) 新しいモデルとしての選手村の構築と大会後のまちづくり

成熟都市で開催するアジア競技大会の選手村の整備・運営の新たなモデルを構築するとともに、将来を見据え、名古屋競馬場跡地や周辺地区のにぎわいと新たな地域ブランドの形成につながり、社会変化や災害に強いしなやかなまちづくりを進めます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策26	良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・	写真
・・・・・・・・・・・・・・・・	
・・・・・・・・・・・・・・・・	

(3) 大会後の活用を見据えた施設整備

大会で活用する施設について、継続して大規模競技大会・イベントの誘致・開催に対応できるようにするとともに、アスリートだけでなく、全ての市民が安心・安全・快適に利用でき、にぎわいの拠点などとなるように、その後の活用を見据えた環境の整備を進めるとともに、効率的な運営に取り組みます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策38	観光の振興・M I C Eの推進と情報発信により交流を促進します
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・	写真
・・・・・・・・・・・・・・・・	
・・・・・・・・・・・・・・・・	

#### (4) 防災性や利便性、危機管理体制を備えた都市機能の強化

大会で、充実した交通ネットワークなどに支えられた快適な運営や万一、災害が発生したとしても被害を最小限に抑えるような安心・安全な運営体制の構築を目指します。

また、大会を契機として拡大する交流人口に対応する、安心・安全で快適な都市空間の形成に向けて、2027年に予定されているリニア中央新幹線の開業も見据えながら、高い防災性や利便性、充実した危機管理体制を備えた都市機能の強化をすすめます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策16	災害に強い都市基盤の整備を進めます
施策17	防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します
施策18	災害時に市民の安全を守る体制の強化を進めます
施策25	公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりを進めます
施策33	世界の主要都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます

主な取り組み

～取り組み名～ ○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・	
・・・・・・・・・・・・・・・・	
・・・・・・・・・・・・・・・・	

(5) イノベーションの創出、成長産業の振興

大会を、国内外へ先端技術を発信する場として活用するとともに、大会を契機として、域内経済のさらなる活性化や持続的な成長につなげていけるよう、IoT、AI、ロボット、自動運転といった先端技術を活用した成長産業の振興をはかるなど、産業分野においても絶え間ないイノベーションの創出を促進します。

また、多様な産業交流を進めるとともに、外資系企業、本社機能やICT企業などの戦略的な企業誘致を進めます。

名古屋市総合計画における主な関連施策

施策41	新たな価値を創造する産業を振興するとともに、産業交流を促進します
------	----------------------------------

主な取り組み

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">～取り組み名～</div> <p>○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>・・・・・・・・・・・・・・・・</p>	
---	---

◆まちの姿の実現に向けた成果指標

成果指標	現状値	目標値